

## 将来に向けて

### 【対応のポイント】

- ・将来の進路の方向性について、できるだけ早い時期から相談を進め、本人にも意識できるようにする。
- ・安定した自己を形成していくために、実体験をたくさんさせる。その中で「失敗しても大丈夫」「努力すれば成功する」などの気持ちが育つようにする。



- ・社会人らしい振る舞いを身に付けるようにする(あいさつ、返事、言葉遣い)
- ・「こんにちは」「〇〇していますか」「すみません」……



- ・同世代の子、同じタイプの子と出会うことも大切。

## 学習のポイント 勉強の仕方

### 【対応のポイント】

- ・学習に困難のある子にはできないことを責めず、何につまずいているのかを理解する。
- ・本人にとって、できそうな量、数等具体的な指示でもって支援する。
- ・必要に応じて授業時間外にも指導を行い、基礎力の定着を図る。



## 混乱への対応 不登校など二次障害の防止

※言葉そのものに惑わされることなく、冷静に話を聞く。

ぼくばかり〇〇だ。もうぼくなんかいない方がいいんだ!

※「きみには、とてもつらいことがあったんだよね」

### 【混乱】



※乱暴な言葉も本気ではないので慌てず、具体的な話をさせる中で気持ちを聞き取るようにする。

※「あの子と何かあったの? あったことを順番に教えてほしいな」

### 【相手や周りを攻撃する】



※目の前のふとしたことから過去の嫌な記憶が思い出されて興奮していることもある。

※周りの状況が把握できていないことを周りが悪いと思ってしまう。

### 【自分の世界に入り込む】



※人からどう思われているか、他者の規範や思惑を気にするが、理由がよく分らず、内的世界への没入もある。

※とるに足らないことを「失敗」と思い込んでしまい、否定的になってしまう。  
※絶対に失敗してはいけないと思い込んでいる。

### 【対応のポイント】

- ・早期発見のポイントは、子供をよく見ていること  
⇒なげやり、あるいは攻撃的な言葉や態度が出てきたり、何かと被害者意識が強くなってきたりしたら注意する。
- ・興奮し、混乱している心を解きほぐし、共感してあげること  
⇒怒り(感情)をコントロールする方法と一緒に考える。  
⇒つらさ、苦しさを自分が知っている「最も強烈な言葉」で表すことがあるので、その場合過激で不適切なものとなることが多い。
- ・思いを表現したり、支援を求めたり、あるいは、思い込んでいることを自分だけで軌道修正したりすることが苦手(誤解されやすい)  
⇒どういふことに困っているのか、どうすれば軽減できるのか、という視点を大切にする。  
⇒思い込みや誤解の背景には、失敗感の蓄積からくる自己評価の低下や自己否定感が根強くある。
- ・他人の気持ちを推し量るのが苦手(注意やアドバイスを、否定やからかいと思い込む)  
⇒本人が納得できる形で理解するよう、事実を明確に説明し誤解を解く。
- ・場に合わせた柔軟な対応が苦手  
⇒言葉のみで動かそうとしない  
○場所、時間、活動内容などに枠を設定する。  
○図、スローガンなどを活用する。